

番号	大項目	小項目	係	指標名(アンケート項目)	単位	当時の実績 値	目標値	実績① (2024年)	実績② (2025年、アンケート 結果)	達成率	目標値と最新実績値の差の理由 (達成…大幅に達成している場合はその理由 未達成…原因、理由等)	目標を達成する為に次の4年間(2027年 ～2030年)に必要な施策
1	政策1		保健予防係	出生数	人	58	81	40	38	46.9%	町の出産年齢の女性の人口が増えていない状況、実際の目標値の見込みが高いと考える。	若い世代が子育てをする地域として選び、帰りたいまちを目指す
2	政策1		保健予防係 子ども・家庭相談係 幼児保育係 総務学校教育係	子どもを産み育てやすい地域である	4が最高、1が最低	2.62	2.70		2.76	102.2%		
3	政策1		幼児保育係 総務学校教育係	幼少期に豊かな体験ができる保育体制が整っている	4が最高、1が最低	2.71	2.80		2.95	105.4%		
4	政策1		子ども・家庭相談係	(いじめや・児童虐待など)悩みを抱える子どもや家庭を支援する環境が整っている	4が最高、1が最低	2.16	2.50		2.54	101.6%		
5	政策1	1-1	生涯学習係 スポーツ係	スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っている	4が最高、1が最低	2.47	2.50		2.63	105.2%		
6	政策1	1-1	幼児保育係	保育満足度	%		90.00		75.90	84.3%		
7	政策1	1-1	子ども・家庭相談係	ファミリー・サポート・センター事業の利用時間	時間	372	558	509	405	72.5%	子どもの人数が減ったことにより利用時間も減少している	子育て家庭を支える地域の協力家庭(ショートステイ事業を受けてくれる)を増やす。
8	政策1	1-1	生涯学習係	公民館などで学びの機会が提供され、多くの人に利用されている	4が最高、1が最低	2.35	2.50		2.64	105.6%		
9	政策1	1-1	子ども・家庭相談係	中高生の居場所	箇所	0	1	-	1	100.0%	NPO法人子どもの未来をかんがえる会が運営	運営を支える支援を検討？現在、ソフト面での支援を継続実施。
10	政策1	1-1	子ども・家庭相談係	子育て支援団体	団体	7	10	-	8	80.0%	諏訪圏域プラットフォーム登録団体数を指標にしているが、登録していない団体との連携も増えている。(居場所情報交換会に参加する団体のうち未登録団体:3団体)	子育て支援団体との連携を継続する。
11	政策1	1-2	子ども・家庭相談係 総務学校教育係	自己肯定感(小学校)	%	62	85	76.7	89.0	104.7%	全国学力調査の設問に係る回答の数値によるもの。自分の「好き」を発信することができない子どもがいる。	教室以外での授業の活動の充実により子どもたちの体験(出合い)の場を増やす
12	政策1	1-2	子ども・家庭相談係 総務学校教育係	自己肯定感(中学校)	%	75	85	86.8	81.2	95.5%	全国学力調査の設問に係る回答の数値によるもの。自分の「好き」を発信することができない子どもがいる。	教室以外での授業の活動の充実により子どもたちの体験(出合い)の場を増やす
13	政策1	1-2	総務学校教育係 子ども・家庭相談係	他者との活動で自らの考えを深め・広げる力(中学校)	%	79	90	93	85.1	94.6%	全国学力調査の設問に係る回答の数値によるもの。自分の「好き」を発信することができない子どもがいる。	教室以外での授業の活動の充実により子どもたちの体験(出合い)の場を増やす
14	政策1	1-2	総務学校教育係 子ども・家庭相談係	他者との活動で自らの考えを深め・広げる力(小学校)	%	72	85	87	75.5	88.8%	全国学力調査の設問に係る回答の数値によるもの。自分の「好き」を発信することができない子どもがいる。	教室以外での授業の活動の充実により子どもたちの体験(出合い)の場を増やす
15	政策1	1-3	生涯学習係	活動成果発表・活用の機会提供	団体/年	14	50	43	49	98.0%	芸能音楽祭の参加団体は減っているが、作品展示祭の個人出展が増えている。	参加団体からも文化祭に関する周知を行う
16	政策1	1-3	生涯学習係	審議会委員等への女性参画率	%	19.6	25	18.6	21.0	84.0%	審議会委員に選任されている方(〇〇会長、代表等)にそもそも男性が多い。R7に富士見町審議会等の設置及び運営に関する指針を策定したが、任期中の審議会等もあり、反映しきれないため	魅力ある審議会づくり検討 指針の徹底
17	政策1	1-3	スポーツ係	大会・教室年間参加者	人	1,444	2,800	1,711	1,866	66.6%	大会、教室の実施を見直したため	誰もが参加しやすい教室やイベントの実施
18	政策1	1-3	文化財係	考古館・資料館・企画展・体験イベント・講座開催回数	回/年	6	10	8	10	100.0%	普及イベントの積極的な開催による	史跡指定などの機を逃さない実施
19	政策1	1-3	図書館博物館係	図書貸出冊数	冊	207,377	235,000	225,882	222,721	94.8%	おはなし会や図書館イベント開催により貸出数は当初より増加してきているが、電子図書等の普及により本による貸出数が減少したと思われる。	図書館上映会やイベントを通じ図書館利用に繋げる
20	政策1	1-3	文化財係	新井戸尻考古館建設	-	未実施	実施設計完了	-	基本設計完了	100.0%	年度末に完了予定(進捗状況は良好)	建築・造成工事を遅滞なく行うこと
21	政策1	2	産業課	産業振興の合計額	億円/年	695	765	-	未集計	-		
22	政策2		工業交通係	製造品等出荷額	億円/年	486	534	-	550	103.0%	2019年を底に年により上下しているが、徐々に出荷額が底上げされたため。	既存企業の設備投資等支援や新規企業誘致する場合の用地確保(産業団地の後利用含む)
23	政策2		営農推進係	農業販売額	億円/年	66	73	-	未集計	-		農家、農業法人の規模拡大に伴う機械設備導入等に対する国庫補助制度への支援の継続
24	政策2		商業観光係	商業年間販売額	億円/年	119	131	-	152.6	116.5%	飲食料品小売業を中心に増となった。 ※R3経済センサス活動調査値	重点交付金等による経済対策事業
25	政策2		商業観光係	観光消費額	億円/年	25	27	-	33.4	123.7%	パノラマ、富士見高原を中心にキャンペーン等実施しコロナ禍以降回復に向かっている。※R6県観光地利用者統計調査	宿泊施設新改築補助、観光地域づくり事業による長期滞在型観光の推進
26	政策2		工業交通係	法人町民税額	億円/年	1	1.1	-	1.36	123.6%	大企業の納税額に左右されたが、達成に至った。	事業承継、創業支援による法人数確保
27	政策2	2-1	工業交通係	町内企業の移転・増設数	社/4年	0	4	0	4	100.0%	町内企業で移転・増設を考えた企業が、このタイミングで重なったから。	企業が移転・増設しやすいよう、候補地の選定と進出に関連した補助要件の見直し
28	政策2	2-1	工業交通係	町外企業の誘致数	社/4年	0	4	0	1	25.0%	企業からのニーズも減ったが、候補となる用地の確保が調整しきれないため。	企業が進出しやすい候補地の選定と官民連携した企業誘致活動の実施
29	政策2	2-2	商業観光係	富士見駅前商店街の環境整備計画の策定	-	未策定	策定	-	未作成	0.0%	都市計画と併せ協議を継続する方向	都市計画と併せ協議を継続
30	政策2	2-3	営農推進係	農業関連税収	%	100	110	117.1	未集計	106.5%		当町での営農継続のためアフターフォローの継続。
31	政策2	2-3	農政係	作付面積及び保全管理面積	ha	1,669	1,669	1,657	1,660	99.5%	農家人口の減少によるもの	農地マッチングによる遊休農地の利用促進
32	政策2	2-4	農林保全係	森林の整備面積	ha	2,056	2,508	2,178	2,276	90.7%	民間整備及び町の整備面積が大幅に下回っているため。	里山整備事業の推進
33	政策2	2-4	農林保全係	年間推定CO ₂ 吸収量	トン/年	13,981	17,054	15,283	15,476	90.7%	森林の整備面積が大幅に下回っているため。	里山整備事業の推進
34	政策2	2-5	商業観光係	2大リゾートの観光客来場者数	万人/年	55	60	-	56	93.3%	キャンペーン等によりコロナ禍からの回復に尽力して来た。引き続き目標値を目指す。R6実績値	情報発信と施設の営業戦略を推進 観光地域づくり事業推進
35	政策2	2-5	商業観光係	町内観光客来場者数	万人/年	85	93	95	95	102.2%	コロナ禍からの回復に尽力して来た。R6実績値 2大リゾートからの周遊等により誘客に繋がった。	町内観光の情報発信と施設の営業戦略を推進 観光地域づくり事業推進
36	政策3		保健予防係	健康寿命	歳	男81.1 女85.1	延伸	男82.4 女86.2	男82.5 女86.2	100.0%		
37	政策3		国保年金係	住民1人あたりの医療費	円	338,075	382,673	364,833	373,272	97.5%	健診受診による疾病の早期発見、被保険者の減少等が原因と考えられる。	引き続き、健診の受診率向上に努め、早期発見、重症化予防の取組を実施する。
38	政策3		介護高齢者係	高齢者が生きがいを感じ、住み慣れた地域で暮らしていける環境が整っている	4が最高、1が最低	2.47	2.70		2.57	95.2%		
39	政策3		社会福祉係	障がい者が安心して生活していける環境が整っている	4が最高、1が最低	2.18	2.50		2.37	94.8%		

番号	大項目	小項目	係	指標名(アンケート項目)	単位	当時の実績 値	目標値	実績① (2024年)	実績② (2025年、アンケート 結果)	達成率	目標値と最新実績値の差の理由 (達成…大幅に達成している場合はその理由 未達成…原因、理由等)	目標を達成する為に次の4年間(2027年 ～2030年)に必要な施策
40	政策3	3-1	国保年金係 保健予防係	特定検診受診率(国民健康保険)	%	44	60	47.3	未集計	78.8%	2024年度目標値49%に対する評価、受診率は経年で向上、最終年度受診率達成に努める。	受診率向上のため、健診の周知、受診体制の強化に努める。
42	政策3	3-1	保健予防係	こころの健康状態「毎日の生活にやや満足以上」	%	95	95		83.70	88.1%		
43	政策3	3-2	社会福祉係	地域共生センターふらっと施設来場者数	人/年	0	7,200	30,643	30,635	425.5%	2025年度:2026年1月時点 地域交流・放課後の居場所として定着	
44	政策3	3-2	社会福祉係	地域共生センターふらっとにおける相談対応件数	件/年	0	540	1,037	2,114	391.5%	2025年度:2026年1月時点 相談事業の拠点として定着	
45	政策3	3-2	社会福祉係	災害ボランティアコーディネータ養成講座受講者の地区配置数	地区	23	39	24	26	66.7%	養成講座受講者は増えているが、受講者のいない地区からの受講者が居ない	受講者のいない地区への積極的声掛けや、防災係との連携。
46	政策3	3-2	社会福祉係	権利擁護に関する住民向け講習会参加人数	人/年	38	60	60	40	66.7%	終活講座として、エンディングノートや遺言、成年後見制度を話題にしているが、参加者からは大変好評で関心の高さがうかがえる。	2025年度は2026年3月15日に開催予定
47	政策3	3-3	介護高齢者係	地区運動教室・サロン開催回数	回/月	1	2	1.35	1.2	60.0%	コロナ禍に休止となったサロンが、5類以降も休止の地区あり、また小規模地区や担い手不足は否めない。	各サロン担当の生活支援コーディネーターを中心にサロン後方支援を行う。
48	政策3	3-3	介護高齢者係	平均介護度	-	1.99	2.2	1.98	2.1	95.5%	他6市町村に比べ、平均介護度が若干高めであるが、国の基準に準じて調査時の状況より頻回な状態を聞きとり、適切に判定している。	引き続き、適切な介護度が判定できるよう調査を実施する。
49	政策3	3-4	社会福祉係	「めるふじ」配信登録者数	人	158	250	233	178	71.2%	ボランティア等が登録をするメールマガジン。R7にメール不着者や死亡者を整理したため大幅に減少した	2025年12月に民生児童委員の一斉改選があった為、新任の民生委員に登録を促す。
50	政策3	3-4	社会福祉係	就労移行支援における一般就労への移行者数	人	0	2	0	0	0.0%	福祉就労として支援している方多くいるが、就労移行支援からの一般就労者は出ていない。	就労移行支援に拘らず、福祉就労からの一般就労移行者数に指標を変えること検討したい。
51	政策4		都市計画係	地域の特性を活かした適切な都市計画の推進がされている	4が最高、1が最低		3.00		2.27	75.7%		
52	政策4		環境係 都市計画係	富士見町らしい、美しい景観が保たれている	4が最高、1が最低	2.76	3.00		2.99	99.7%		
53	政策4		環境係 管財係 企画統計係	地域における地球温暖化防止の取組みが進んでいる	4が最高、1が最低	2.78	2.90		2.08	71.7%		
54	政策4		工業交通係	交通弱者に必要な公共交通網が整備されている	4が最高、1が最低	2.04	2.30		1.94	84.3%		
55	政策4		危機管理係・防災係	防災訓練が十分に行われている	4が最高、1が最低	2.65	2.72		2.96	108.8%		
56	政策4		消防係	地域の消防団による活動が活発に行われている	4が最高、1が最低	2.30	2.50		3.20	128.0%		
57	政策4	4-1	都市計画係	都市計画道路及び用途地域の見直しの進捗率	%	20	100	50	60	60.0%	当初は都市計画道路の廃止のみの計画となっていたが、住民説明会等を通じて新たな道路網の構築が必要となったため。	ワークショップ、住民説明会等を通じての住民合意形成
58	政策4	4-1	都市計画係	都市計画道路の整備(役場通り線)	m	215	306	用地交渉	用地交渉	0.0%	地権者の合意形成に時間を要しており、用地交渉が難航している。	県が実施する用地交渉への協力 地権者との合意形成
59	政策4	4-1	都市計画係	耐震改修補助件数	件/年	2	5	2	1	20.0%	高額な工事費用に対する所有者の経済的負担や特に高齢者世帯における資金調達や手続きの煩雑さのため。	高齢者への相談体制等の支援策や低コスト工法の情報提供の検討
60	政策4	4-2	環境係	家庭系可燃ごみ排出量	g/人・日	384	300	378	371	123.7%	未算出(年度末で締めて実績値集計予定) 住民意識の醸成不足	住民意識の醸成
61	政策4	4-2	環境係	環境保全推進事業(作業)	回/年	3	5	5	5	100.0%	4月-1月の実績にて達成	
62	政策4	4-3	環境係	二酸化炭素排出量	千t-CO ₂	122	66	-	未集計	-	未算出(年度末で締めて一部実績値集計予定) 住民意識の醸成不足	住民意識の醸成
63	政策4	4-3	環境係	富士見町既存住宅エネルギー自立化補助件数	件/年	6	15	4	6	40.0%	住民意識の醸成不足	住民意識の醸成
64	政策4	4-4	工業交通係	デマンド交通利用者数	人/年	19,212	25,000	15,756	15,012	60.0%	ヘビーユーザー以外の利用者にとって、利便性が低い ため。 高齢者専用の移動手段というイメージがあるため。	AIオンデマンド交通「のらざあ」に移行し、利便性を向上させ利用者を増やす
65	政策4	4-4	工業交通係	次世代交通システムの確立	-	未実施	実施	-	次世代交通システム (のらざあ)の運行開始の承認	80%	新たなデマンド交通システムの導入計画を公共交通会議に諮り承認されたが、公共交通計画策定には至らなかったため。	これまでの実証運行を踏まえて、R9に地域公共交通計画を策定していく
66	政策4	4-5	管財係、防災・危機管理係	防災アプリ加入者数(富士見防災行政ナビ)	人	1,594	3,000	3,454	4,311	143.7%	防災訓練等で随時周知するとともに、加入者を増やすための防災グッズ販売等に取り組んだため。	
67	政策4	4-5	建設係	町道改良工事	路線	4	4	2	3	75.0%	4年間で4路線の完成を目指し、現在3年目で3路線完了した。順調である。	
68	政策4	4-5	建設係	橋梁の修繕	橋/5年	3	10	7	21	210.0%	目標である年間5橋の修繕工事が達成できた。	
69	政策4	4-5	建設係	河川改修工事	河川	5	5	3	4	80.0%	4年間で5河川の完成を目指し、現在3年目で4河川完了した。順調である。	
70	政策4	4-6	管財係、防災・危機管理係	防災士資格取得	人/5年	19	78	59	71	91.0%	令和7年度の養成研修講座が中止となり、受講者が減ったため。	自主防災会、防災士連絡会の内容充実
71	政策4	4-6	管財係、防災・危機管理係	地区防災マップ	件	2	20	12	16	80.0%	各地区自主防災会の作成意義の理解不足	防災訓練の訓練内容の見直し 町が作成機会の設定
72	政策4	4-6	管財係、防災・危機管理係	地区防災計画策定	件	0	20	-	11	55.0%	地区防災計画に地区防災マップを掲載するため、マップから作成に取り組んでいるため。	防災訓練の訓練内容の見直し 町が作成機会の設定
73	政策4	4-6	消防係	消防団員数	人	339	363	314	328	90.4%	人口の減少、高齢化によるなり手不足。	インスタを活用した団活動の紹介や、移住者への案内、ハード面の整備の継続。団員との対話を重視し、活動しやすい環境を作る。
74	政策4	4-6	消防係	消防団と諏訪広域消防との連携訓練	回/年	3	3	3	3	100.0%	計画的な訓練の実施。	継続的な訓練計画の立案。
75	政策4	4-6	都市計画係	学校・地域における交通安全教室	回/年	8	15	6	9	60.0%	人口減少に伴う小学校の統合や地域における高齢者クラブの活動の縮小による開催回数の減少	高齢者クラブへの周知
76	政策5		企画統計係	自然動態と社会動態の差引	人	-67	-120	-94	-142	-22人	転入超過ではあるが死亡者と転出者の増加により大幅に減少した。	人口減少対策事業及び目標人口の見直し検討
77	政策5		まちづくり推進係	移住者が地域に定着している	4が最高、1が最低	2.81	2.90		2.89	99.7%		
78	政策5		まちづくり推進係	高校生の町に対する愛着度	%	90.70	95.00		84.10	88.5%		
79	政策5		まちづくり推進係	家族に住み続けることをすすめられた高校生の割合	%	11.20	25.00		54.30	217.2%		
80	政策5		まちづくり推進係	町での働き方・暮らし方について具体的に知る機会があったと答えた高校生の割合	%		50.00		29.20	58.4%		

番号	大項目	小項目	係	指標名(アンケート項目)	単位	当時の実績値	目標値	実績① (2024年)	実績② (2025年、アンケート結果)	達成率	目標値と最新実績値の差の理由 (達成…大幅に達成している場合はその理由 未達成…原因、理由等)	目標を達成する為に次の4年間(2027年～2030年)に必要な施策
81	政策5	5-1	生涯学習係	まるかじり探検隊の参加人数	人/年	62	80	159	127	158.8%	年4回それぞれ異なった内容を実施し、富士見の歴史・文化・自然探検を経験してもらうことで参加者に繋がった。	他部署が企画するイベントへのコラボ企画など検討
82	政策5	5-1	まちづくり推進係	定住者数	人/年	56	60	71	39	65.0%	空き家などの物件や宅地不足や、建築資材の高騰などによる住宅購入マインドの低下のため	
83	政策5	5-1	まちづくり推進係	Fターン者数	人/年	6	10	12	12	120.0%	富士見町出身者の移住につながる効果的な発信ができていないため	
84	政策5	5-1	まちづくり推進係	町内在住者の婚活イベントの参加人数	人/年	4	10	2	6	60.0%	婚活意欲の向上につなげられていないため	
85	政策5	5-2	まちづくり推進係	移住者数	人/年	44	50	51	53	106.0%	ウツリスムステーションを中心に移住施策を効果的に行えたため	
86	政策5	5-2	まちづくり推進係	移住相談件数	件/年	380	400	300	424	106.0%	ウツリスムステーションの移住相談窓口としての認知が進んでいるため	SNSや相談会等を活用し、「一次接触」の機会を増やす
87	政策5	5-2	都市計画係	宅地造成支援件数	件/年	-	9	8	0	0.0%	本年度、対象者の見直しを行い要綱改正をしたため。	事業者(宅地建物取引業者)への周知
88	政策5	5-3	企画統計係	ふるさと納税寄付金額	千円/年	229,803	300,000	429,749	494,981	165.0%	寄附額が大きく伸長することを見込めなかったため大幅に達成した。	
89	政策5	5-3	まちづくり推進係	まちづくり支援金の支援団体	団体	8	40	52	66	165.0%	地域活動への関心が高まり、支援ニーズが拡大したため	
90	政策6		財政係	財政力指数	-	0.54	0.55	0.52	0.52	94.5%	過去3年の平均値となるため、今後は上昇傾向にある	定住促進・人口増など、基準財政収入額(分子)を増やす。DXや公共施設の集約・長寿命化等で基準財政需要額(分母)を抑える
91	政策6		財政係	経常収支比率	%	79.5	80	90.2	90.5	-10.5ポイント	「財政・経営の柔軟性」がない状況。	「経常支出」を減らす(支出の抑制)・「経常収入」を増やす(収入の確保)。行財政改革を進める。
92	政策6		企画統計係	公共施設が適切に維持・管理されている	4が最高、1が最低	2.78	2.80		3.06	109.3%		
93	政策6		まちづくり推進係 庶務人事係	区・集落組合が機能し、自立的な地域づくりが行われている	4が最高、1が最低	2.62	2.80		3.06	109.3%		
94	政策6		財政係	行政運営の現状が「わからない」という回答の割合	%	44.60	40.00		59.70	67.0%		
95	政策6		庶務経理係 施設係	上下水道の整備が行き届いている	4が最高、1が最低	3.04	3.10		3.35	108.1%		
96	政策6		文書情報係	町政に関する情報を入手する環境が整っている	4が最高、1が最低	2.44	2.60		2.84	109.2%		
97	政策6		財政係	行政の支援や補助制度が「わかりやすい」という回答の割合	%		60.00		36.40	60.7%		
98	政策6	6-1	管財係、防災・危機管理係	公有財産処分件数	件	1	4	1	2	50.0%	関係者との協議や法的課題の整理を慎重に進めているため	測量や法的整理、条件整備等の計画的な推進
99	政策6	6-1	施設係 庶務経理係	耐震適合性がある水道管の割合	%	65.6	70	68.5	69.5	99.3%		重要管路布設替計画
100	政策6	6-1	施設係 庶務経理係	下水道に接続が完了した人口の割合	%	93	95	92.9	93.8	98.7%		
101	政策6	6-2	町民税係 資産税係 収納係	収納率の維持	%	100	100	99.2	99.1	99.1%		
102	政策6	6-3	庶務人事係 まちづくり推進係	地域運営支援事業対象地区	地区	6	6	7	7	116.7%	地域運営支援事業対象地区が予定より増加したため	
103	政策6	6-3	まちづくり推進係	公益的な活動の支援	件	8	18	-	19	105.6%	地域活動への関心が高まり、支援ニーズが拡大したため	
104	政策6	6-4	文書情報係	オンライン化事務手続き	手続き	1	13	1	6	46.2%	国が示している手続きを挙げたため、町が行っていないものがあった。	町DX推進計画と整合を取るようにした方がよい(担当課の課題意識がない)